

議会運営委員会会議録

(令和8年4月1日)

愛 南 町 議 会

愛南町議会議会運営委員会会議録

本日の会議 令和8年4月1日(水)
招集場所 議員協議会室

出席委員

委員長	原 田 達 也	副委員長	鷹 野 正 志
委員	尾 崎 恵 一	委員	嘉 喜 山 茂
委員	池 田 栄 次	委員	金 繁 典 子

欠席委員

なし

出席委員外議員

議長 吉 田 茂 生

傍聴委員外議員

なし

職務のため出席した者

議会事務局長 土 居 章 二 主幹 尾 川 美 保

説明のため出席した者

なし

本日の委員会に付した案件

【協議事項】

- (1) 他市町委員会の視察について
- (2) その他

開 会 15時00分
閉 会 15時35分

○**鷹野副委員長** 定刻になりましたので、ただいまから議会運営委員会を開会いたします。

開会に先立ちまして、まず委員長お願いいたします。

○**原田委員長** 皆さん、こんにちは。今日は議会運営委員会ということで、御案内をいたしましたところ、年度初めの大変何かとお忙しい中を、全員の委員に出席をいただき、誠にありがとうございます。

今日の議会運営委員会は、かねてより協議をしております予算・決算の審議の方法、委員会付託、これの件について、ちょっと他市町のほうに視察に行ったらどうかということで、今日は検討をしていただきたいと思います。

なお、今日の委員会は愛南町議会委員会条例第14条の規定に基づき招集をいたしました。どうか、委員会付託、いろいろと今まで協議してきましたが、一応、9月からどうかかなということで今まで検討しておりますので、どうぞ忌憚のない御意見をよろしくお願いいたします。

○**鷹野副委員長** ありがとうございます。これからの議事につきましては委員長の進行でお願いいたします。

○**原田委員長** 協議に入る前に、事務局より、先ほど説明はあったんですが、本日の開催に至った経緯について説明を求めます。

土居事務局長。

○**土居事務局長** それでは、事務局のほうより、本日の開催に至った経緯について御説明いたします。

事務局では、年度初めを意識するあまり、先行した実務の調整によりまして、委員会の決定権を軽視する形となったことを改めましておわびいたします。

本日は、改めて、本視察を公式な委員会派遣として実施すべきか否か、正当な手続として審議をお願いするものでございます。

事務局のほうから、本日の協議内容につきまして御説明を申し上げます。

本視察の目的につきましては、先ほど委員長の御挨拶にありましておおり、本町議会の行政監視機能を強化するための、委員会付託方式への移行に向けた調査研究であります。既に先行して、事務局におきまして、受入先、視察先として考えておりました、お隣にあります宿毛市・宇和島市、両市との日程調整を先行して進めてしまいまして申し訳ございません。本来この視察を議会運営委員会による公式な委員会派遣として実施するかどうかにつきましては、本委員会において決定していただけたらと思っております。

事務局の段取りに不備があったことは重ねておわび申し上げますが、本日はこの視察の目的と内容に鑑み、議会の公式な公務、委員会派遣として実施すべきか、それとも本委員会としては派遣を見送り、有志による私的な調査活動にとどめるべきかについて、御審議を仰ぎたいと考えております。よろしくお願いいたします。

○**原田委員長** 嘉喜山委員。

○**嘉喜山委員** この急遽開催となった経緯なんですけど、私が、やはりその、他議会の視察をしたほうがいいだろうということで、池田委員、尾崎委員に協議を持ちかけて、賛同いただいたので、委員会条例の14条に基づいて、過半数となったので、委員長に開催を要望し、今日の運びとなったということです。

なかなか研修、金繁委員が言われたように研修の講師ということなんですけど、なかなか見つからないだろうと思うし、事務局に聞いてもなかなか見つからないということだったので、視察先にいろいろ説明をいただくことで、これが研修になるだろうという判断もしました。

経緯としては以上です。

○**原田委員長** 金繁委員。

○**金繁委員** 御説明どうもありがとうございます。事務局のほうから、事務局が先行して、宿毛市議会のほうに手配をしまして、それは事務局の不備だとおっしゃったんですけれども、今、

嘉喜山議員から説明があったように、先行して手続をしたのはやっぱり、委員長に相談があって、委員長が事務局に依頼したから進んだことだと思うんですね。なので、議運として、委員長として、それを許可したというか、は、されたんですね、そこを明らかにしておきたいと思います。

○**原田委員長** 今の金繁委員からの意見なんですが、確かに嘉喜山委員より、そういった視察をしたらどうかという申出は確かに私にありました。そうしたら議運を開かんといけんなということで、当初、日にちがもう、そのときにもう、6日が宿毛ということをおったので、じゃあその6日の行く前にちょっとまた議運を開いたらどうかということで、その辺の段取りをしよったんですが、それはちょっとあまりにも急なので、じゃあ前もってやっぱり、早めに議運は開かんといけんなということで、本日の開催に至ったような次第です。

以上です。

金繁委員。

○**金繁委員** 御説明ありがとうございます。視察先、視察をしましょうということを話し合っていたので、そこを、どういう目的で、どこにしましょうという選定について、やっぱりここで、一応合議体なので、話し合いたかったなど。まあこれからやったらいいんですけど、今後、このようなことがないように、委員長にはお願いをして、この件は終わりたいと思います。

視察の選定についてなんですけど、事務局にお聞きしたいんですけど、前回までに視察先の選定についてと目的について、どこまで話し合っていましたかね。特に誰かに委任するとか、または次回話しましょうとか、確認はしていなかったですね。なので。

○**原田委員長** 土居事務局長。

○**土居事務局長** 金繁委員の御質問にお答えします。御質問にあったように、特にどこそこ市、どこそこ町に視察へ行きましょうという選定の絞り込みまではできていなかったと思っております。

以上です。

○**原田委員長** 金繁委員。

○**金繁委員** ある意味、探していただいて、コンタクトしていただいたというのはありがたいことなんですけど、選定のその、どういうふうにするかというのをまず決めたほうがいいんじゃないかなと思うんですよ。ここに行ってみたいとかあると思うので。まあもちろん嘉喜山委員は宿毛が参考になると思われて、宿毛を選ばれたと思うんですけど、ほかにもあるかと思うので、それをいつまでにどのようにするかというのを。まあ議運も来週にはまた開かれるので、それまでに例えば、嘉喜山委員の選定以外のところでも行きたいところがあれば提案したらどうかと思うんですけど、どうでしょう。

○**原田委員長** 今、金繁委員より、ほかにも視察先にいいところがあるんじゃないかという意見なんですけど。

鷹野副委員長。

○**鷹野副委員長** 私は、その前に、宿毛市と宇和島市、それぞれ議長・副議長が両市とも視察、視察というか予算審議、見に行ったと思うんですよ。私は宇和島へ行ったんですが。ただ見ただけで、実際どのような内容で、どういうことを実践しているのか、その詳しい内容まで全然把握していないので、これをまたその現場と見比べて、そこを聞きに行くのか、これが研修なのかということで、宿毛と宇和島を今回こうしたんかなというふうに思っています。

ですからまあ取りあえず近隣、両市のどういうふうに行っているか。恐らく宿毛市と宇和島市さんはやり方がちょっと部分的には違うと思うんですよ。だからまあ、両市をまず近隣だから、そんなに時間もかからないので、1回研修兼ねて、その内容を聞くというのもいいのかなというふうに今私は思っています。

以上です。

○原田委員長 尾崎委員。

○尾崎委員 視察前に一点だけ確認しておきたいんですけども、現在、議会運営委員会に関するこの申合せ事項の見直しの一環として、予算・決算の委員会付託の在り方について協議をしておるわけなんですけれども、我々この愛南町議会として想定しているこの委員会制というのは、議員全員参加による委員会制、全体審査を前提としてこれから我々は考えていくのか、それとも、全体審査とするのか、あるいは他の多くの自治体が行っているような分野ごとに区分した分野審査とすることを含めて、今後協議していく整理なのか、まずこの点をしっかりと、それから視察に入らんといかんと思うんですよ。この点どうなんですかね。

○原田委員長 嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 結局、今、尾崎委員言われたように、そこがちょっと分からないというところで、やはりこれは聞くしかないかなということの結論に至っています。

やはり、愛南町であれば総務文教と産業厚生、それぞれの分野で予算を審議した上で、予算・決算特別委員会の分科会としてやるのが、両市を見た中では自然かなというふうには思いましたので、やはり考え方自体を聞いたほうがいいと思っています。

○原田委員長 尾崎委員。

○尾崎委員 その全員参加による全体審査を仮にですよ、前提として我々が視察するのであれば、実際にそういった全体方式を採用している自治体に行くのが最も効果があるんじゃないかと思えます。

けど、近隣の自治体を調べてみると、どこも、ざっくりといくと分担審査という、取っつるので、それも含めて我々は考えるのであれば、そこに行けばそれなりの効果はあるんじゃないけど、全体審査を前提で視察だけで行くんやったら、そういう近隣に行ってもあんまり意味がないので、探して全体審査をしようところに行つて勉強するほうがいいんじゃないかなとは思っています。

○原田委員長 金繁委員。

○金繁委員 尾崎委員の御意見に賛成です。宿毛・宇和島を見て、見れば見るほど勉強にはなると思うので、否定するものではないんです。それに加えて、全体審査というところを見るのは必須かなと思います。

提案なんですけど、例えばその次回の議運までに、全体審査しているところでよさそうなところを、できれば近場、四国内ぐらいで探してくることを宿題にしてはどうかなと思うんですけど、いかがでしょうか。

○原田委員長 どうですかね、今の御意見。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 前回、事務局から、委員会のやっているところの一覧、あの中から、よく検討して、選択してもいいのかなとは思っています。ただ、表面上のことと、実際やっていることというのが違う可能性が高いので、やっぱりちょっと問合せが必要かなとは思っています。

○原田委員長 尾崎委員。

○尾崎委員 それで、最終的にその全体審査を目指すに仮定したときに、今うちがやりよるこの全員協議会での勉強会方式と、全体審査をした場合のメリット・デメリットはどういったところにあるのか。もし変わらんやったら今までどおりでええし、それに見合うメリットがあるんやったら委員会付託の全体審査にすればええわけで、そういった、やっぱり協議のたたき台というのは必要かなと思います。

○原田委員長 金繁委員。

○金繁委員 まさに私もそう思います。なので、両方見るということを前提としつつ、ずっと言っています専門家のお話を、両方を知っていらっしゃる、客観的に両方を見ることが出来る方の御意見というのを、4月末とか5月になってもいいので、一度聞くということも大事なかなと私は思います。一応、候補についてはお伝えしております、調べてくださっているかとは

思うんですけど。

○原田委員長 土居事務局長。

○土居事務局長 事務局からお答えします。前回、そういったことで金繁議員より御提案がありまして、すぐさま愛媛県町村議会議長会に問合せいたしました。なかなか年度初めということもありまして、講師の方を見つけることは、はっきり言って困難でございます。普通、研修の講師とかということであれば、大体半年後とか、そういったことで設定するのが通常ではございますが、ちょっと期間的な猶予もないということで、御相談いたしましたら、例えば、事務局のほうでまとめました県内19市町プラス宿毛市の一覧表があったと思うんですけど、あちらのほうの各議会での予算・決算の審議方法について、先ほど尾崎委員からも御提案があったように、全議員で審議をしている委員会なり、そういったところを選定してお話を聞くというのが一番、スピード感があるのかなというふうに思っております。

それに加えまして、先ほどお話がありました宿毛市・宇和島市の例を、その一覧を見て申しますと、宿毛市につきましては、予算・決算常任委員会を全14人の議員の構成の委員会へ付託しております。そこから2つの常任委員会、総務文教と産業厚生が分科会となって審査を行い、審査を行った後、本会議で委員長が報告というふうにはなっているんですけど、その委員長報告までのプロセスが、詳細までお聞きしておりませんでしたので、やはりその辺りの詳細については直接お話を聞くしかないのかなというふうに思っております。

お隣の宇和島市につきましては、予算は、総務環境、そして厚生、産建教育の各常任委員会へ付託し、事務局が予算を各委員会に仕分けして審査をしております。決算につきましては決算特別委員会、一般会計については議員選出監査委員さんを除く12人、公営企業会計については11人へ付託ということで、大まかな委員会付託等のことはお聞きしているんですけど、細かな内容についてはお聞きできておりませんので、それぞれ双方、両市とも予算・決算に対する審査の方法が違ってまいりますので、そちらのお話を聞くのも参考になろうかと思っております。

ただ、一つ心配なのが、申合せ事項の一覧にも記していたんですが、予算・決算については一体不可分な議案なので、総務文教であるとか、産業厚生の両常任委員会に分割付託することはできないということがありますので、その辺りを、先ほどで言うところの他市が取り扱っているような審議方法が果たして正しいのかどうかというのは再度確認する必要があると思っております。

以上です。

○原田委員長 今、事務局より説明がありましたが、毛の場合はまあ一応全員が委員会に入っているということで、宇和島の場合はちょっと違うということなんですが、そこら辺り、2つの市はそれぞれ違うようですので、そこら辺りを見るのもいいのかな、話聞くのもいいのかなと思うんですが。

金繁委員。

○金繁委員 以前にここの場で四万十町とか四万十市というのありましたよね。それについては、調べはしていただいたんですかね。

○原田委員長 土居事務局長。

○土居事務局長 前回か前々回はちょっと忘れたんですけど、金繁議員から高知の自治体の例を調べてくださいということで、お調べはいたしました。今日ちょっとデータを持ってきていないんですけど、同じような感じで聞き取りはいたしましたので、また後ほど提供させていただきます。

○原田委員長 金繁委員。

○金繁委員 ありがとうございます。ということで、宇和島は議員数も非常に多くて、どこまで参考になるかということもあるけれども、行ったら行ったなりに勉強にはなると思っていますので、行

くことはやぶさかではないんですが、もう少し全体審査をしているところを見たほうが。まあ県内では少なそうなので、なさそうなので、県外も含め、一旦ちょっと調査してはどうですかね、来週ぐらいまでに。各自調べてきて、お伝えするというので、いいところがありましたら、というのはどうでしょうか。

○原田委員長 今、金繁委員より提案がございましたが、どうでしょうか。

○原田委員長 嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 今、宿毛市と宇和島市、ちょっと方式が違うので、全体審査というところであと一つ話を聞くのもいいかなと思います。結局、宿毛市の委員会を視察して思ったことは、最終的には全体審査かなとは思っています。

以上です。

○原田委員長 尾崎委員。

○尾崎委員 全体審査、そんなには思いませんけど、逆にこの勉強会を開いて、そして透明性も確保して、テレビ中継して、町民の方にも示しながら、我々も全体会で勉強して、それをもって本議会で改めて分からんところは質疑し、最終的に審査して決議するこの方式は、どうなんでしょうね、もしかしたら他の自治体よりも、これいいんじゃないかなと、そういう結論になる可能性もあろうかと思えます。そのためにも、やっぱり全体審査やりよるとこも、見ることは大事なかなと思えます。最終的に結論を出せばいいと思えます。

○原田委員長 池田委員。

○池田委員 同じような考えで、宿毛・宇和島にしても1回視察、意見を聞いてみるということも大事やと思えますので、まず、それも加味しながら、全体審査している自治体もあれば視察、意見を聞くということでもいいんじゃないかと思えます。

○原田委員長 尾崎委員。

○尾崎委員 ちょっと説明が足りませんでした。何もかも委員会付託ありきではなくて、もう一つ視点をずらして、今我々がやっているやり方は果たしてどうなのかということを考えながら、最終的に結論を出せばいいと思えます。

○原田委員長 ほかに御意見ございませんか。

池田委員。

○池田委員 ということは、今、愛南町は本会議主義でやりよるということで、それと委員会主義との比較もするということですかね。はい。

○原田委員長 いろいろ御意見が出ましたが、ほには何かございませんか。

(「なし」と言う者あり)

○原田委員長 さしむき、今の御意見では、ほかの、宿毛と宇和島以外でも全体でやっているところを1回見たらどうかと、聞きにいったらどうかということなんで、さしむきこの宿毛と宇和島について、どうしましょうか。皆さん、どうでしょうかこれ。行く方向ということでもいいですか。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 一応委員会として、話を聞いてみるということで、行きたいと思えます。

○原田委員長 それでよろしいですか。

金繁委員。

○金繁委員 それと、先ほど尾崎委員が言われた、今やっている私たちのやり方、本会議主義ももう一度しっかりレビューして、きちんと比較した、メリット・デメリットを比較したものをここでつくって、全員協議会に諮るといいと思えます。全体審査のところも来週までに探してくるということでもよろしいですかね。

○原田委員長 じゃあその方向で。事務局、いいですかね。

土居事務局長。

○土居事務局長 御議論ありがとうございます。一応、御議論いただいたことを整理いたしますと、両隣にあります宿毛市議会、そして宇和島市議会の視察については、議会運営委員会の委員会視察として行くということによろしいですか。委員会派遣で。

となりますと、正式に命令を切りまして、公用車のほうで、乗合いで両市に出向いていくということになりますが、よろしいですかね。その確認をさせていただきます。

○原田委員長 今、事務局より説明がございました。それでは、議会の公式な公務として実施していくということによろしいですかね。

(「はい」と言う者あり)

○原田委員長 じゃあそのように決定いたします。

○土居事務局長 あと、委員長、もう1点。

○原田委員長 土居事務局長。

○土居事務局長 金繁議員から御提案がありました、全議員で委員会制で審議しているところの辺りについては、大体いつ頃を目安に。

○金繁委員 来週の議運までに。

○土居事務局長 来週の議運までということ、また、そうしたら、事務局に何か、お電話なりL o G oチャットなりでお知らせいただいたら、まとめるようにさせていただきます。

(発言する者あり)

○原田委員長 いいですかね、じゃあそのL o G oチャット……

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 そこに、あれば、四国内であれば行くということでもいいんですか。それとも四国外でも。

○原田委員長 金繁委員。

○金繁委員 実際に行くメリットがありそうであれば、県外でも、四国外でも、行かざるを得んかなという思いはあるんですけど、調べてみて、それだけいいところがあるかどうか調べて、まず調べてみたいと思います。

○原田委員長 まあこれなかなか調べるといっても、いろいろ資料とか大変だと思うんですけど大丈夫ですか。じゃあそこら辺り、よろしく願いいたします。

じゃあその宿毛と宇和島の視察なんですけど、日程について事務局より説明を求めます。

土居事務局長。

○土居事務局長 御議論いただきありがとうございます。事務局のほうでちょっと先走りまして、先行して調整していた日程を共有させていただきます。

まず、宿毛市議会につきましては、4月6日、月曜日、宿毛市議会に14時ということで、調整を現時点ではしております。ですので、改めまして集合・出発時間等を決める必要があります。

もう一つのお隣の宇和島市議会につきましては、4月14日、火曜日の14時から、こちらも14時着でお願いしております。こちらについては1時過ぎぐらいに本庁を出発すれば、14時までには宇和島市役所のほうに届くのではないかと考えております。

ですので、宿毛市議会については、本日のこの当委員会でも両市議会への委員会としての視察発見を御承認いただけるようであれば、6日についても、そうですね、30分もあれば着くとは思いますが、あまりぎりぎりも失礼に当たりますので、例えば13時20分とか、出発すれば、30分あれば着くと思いますので、10分前には宿毛市役所のほうに到着するのではないかと考えておりますので、また御協議いただき、御決定いただいたらと思います。

以上です。

○原田委員長 出発時間のことで今、説明がございましたが、もうそれによろしいですかね。宿毛市議会が6日の13時20分にここ出発、そして、宇和島市議会が4月14日、1時にこ

こを出発するというところで、それでよろしいですかね。

(「はい」と言う者あり)

○原田委員長 あとのその調査内容については。

土居事務局長。

○土居事務局長 御議論いただき、御決定いただきありがとうございます。両市議会に関する質疑等は、事務局のほうでも取りまとめはしているんですけど、委員の皆様からもこういったことをお聞きしたいという事項がありましたら、事務局のほうにメールなりチャットなりで共有いただければ取りまとめまして、事前に両市議会のほうへ送信させていただきます。

さしむき宿毛市議会がもう来週に迫っておりますので、何かございましたら、もし間に合わないというようでしたら当日御質問をしていただけたらと思いますので。そうですね、今日が水曜日ですので、今週の金曜日の午前中ぐらいまでに頂ければ、まとめまして、事務局のほうから宿毛市議会のほうに、こういったことということで、事前に質問のほうを共有させていただいたらというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

○原田委員長 今、事務局より説明がございました。質問がある方は今週の金曜日まで、お願いいたします。

この件についてはほかに何かございませんかね。

金繁委員。

○金繁委員 前回のここで、この委員会主義について調査している進捗状況を、3月23日の全協でほかの議員さんにも共有しようということをお話したと思うんですけど、されなかったもので、どうしようかということなんですけど、今度の全協のときにしますか。

○原田委員長 いつやったかなあれは。全協はいつやったかねあれ。4月の10日。6日には視察に行くので、その件も含めて。じゃあ一応、途中経過ということで報告しましょうかね。

土居事務局長。

○土居事務局長 ありがとうございます。今まで議員全員協議会の場で、本委員会で御協議いただいている議会運営に関する申合せ事項等の検討状況についてということで、多分1月の中旬ぐらいの議員全員協議会で、そのときの進捗状況は共有したと思います。

それ以降に、既に、例えば広報特別委員会を常任委員会に移行したりとか、既にもう確認済み、実施済みのものもありますので、前回と同様の様式で、現時点どういうふうになっているかはもう既に事務局のほうでまとめていますので、例えば、広報ですと先ほど言ったような状況ですとか、まだ決まっていないところについては継続審議するとかいう、簡単な文言とはなっておりますが、資料のほうは作っておりますので、それにプラス、委員会制については、先ほど委員の皆様から頂いた御意見からすると、まだ委員会にする、委員会制で審議すべきか、それとも本会議制で審議すべきかというような結論に至らないので、継続調査、審議しながら、どちらの方向が愛南町議会としてふさわしいのか、継続的に審議していくみたいな形でちょっと説明を加える必要があるのかなというふうには思っております。

以上です。

○原田委員長 じゃあ次の全協で一応、経過報告をするようにします。

ほかに何かございませんかね。事務局どうですか。いい。

○土居事務局長 はい。

○原田委員長 ないようでしたらもう、本日の議会運営委員会、これで終了したいと。

いいかな。ほかに何かないですか。いいですか。はい。

○鷹野副委員長 そうしたら、以上をもちまして議会運営委員会を終了いたします。

委員長